



第 86 号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 岩崎 貞夫

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズ二の宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

世界一剣道教室開催

福井国体に向け中学生の競技力向上

スーパーアドバイザー 佐藤成明先生を迎えて

平成二十七年一月三十一日(土)・二月一日(日)

於 福井県立武道館

平成三十年「福井しあわせ元気国体」での少年の部の優勝を目指し、県内中学生の競技力向上を図るため、福井国体スーパーアドバイザーの筑波大学名誉教授 佐藤成明先生と、その助手として国士館大学准教授 川上有光先生をお迎えし、「世界一剣道教室」が開催されました。

県内の中学生とその指導者約二三〇名が参加し、二日間に渡り、お二人の先生から、その技と心を学びました。
開会式の後、まず初めに佐藤先生から講義をいただきました。
特に、「基礎・基本をしっかり行うこと」「正義・廉恥・礼節の三

つの教えを大切にし、心を正していくこと」の二つが大事であるとお話がありました。日本代表選手も、素振り、切り返し、打ち込みなどの基本をしっかりと行っているそうです。講義に続いて、素振り、切り返し、面打ちの実技指導を行いました。

佐藤先生は、優しい語り口で、ポイントを丁寧に教えていただき、子どもたちも熱心に聞き入っていました。

午後は、川上先生から、足構え、踏み切り、重心移動など、面打ちにおいて注意する点について、段階を踏んで教えていただきました。「手を伸ばさないこと。伸ばしたままだと、手が自由に動きにくくなる」など、運動学の理論に基づいたお話で、動きのイメージをしっかりとつかむことができました。

一日の最後は、指導者の先生方も元に立って、地稽古を行いました。
二日目も、実技指導を中心に、足さばき、切り返し、面打ち、小手打ちなどの基本を、一つひとつ丁寧に指導をいただきました。

佐藤先生、川上先生がお話されたポイントをいくつかご紹介します。

〈心を正す三つの教え〉

- ・正義(せいぎ)：ルールを守る。正しいことをする。
- ・廉恥(れんち)：恥を知る。正々堂々とやる。反則など相手の失敗を喜ばない。
- ・礼節(れいせつ)：相手に対する感謝、尊敬の気持ちを形に表す。

〈素振り〉

- ・上虚下実(じょうきよかじつ)：上半身の力を抜いて、下半身の足さばきをよくする。体の軸は崩さない。

〈切り返し〉

- ・大きく振りかぶる。
- ・切り返しは大切。筑波大学や国士舘大学でも、基礎的な切り返しの面打ちをしつかり行っている。

〈面打ち〉

- ・間合いが近くなり過ぎない。
- ・一足一刀の間合い(三寸〓約九センチ入ったところ)から、助走をつけずに打つ。
- ・打った後、すぐ次の技を打てる

姿勢に戻す。

・剣先が相手の中心から外れないようにする。

・左足の親指のつけ根に力を入れて踏み込むと、力がうまく伝わり、しっかりと踏み込める。

・足の幅をこぶし一握り開けると、力が入りやすい。

・右ひざの下あたりを意識して踏み込むと打突力につながる。

・左足のひきつけを意識する。

・下半身の重心移動で打つ。

・構えたら、腹をくくり、覚悟を決めて打つ。

・絶対に決めてやるという気持ちで、自信を持って技を出す。

・剣先で相手ののど元を攻めて入り、中結いを過ぎた辺りで、竹刀を振りかぶり、打ち下ろす。

・打つ時に相手から視線を外さない。

・体を相手にぶつけにくいように意識して打つ。右に逃げない。

・気合(声)を出せば、自然に出てくる力がある。

参加者からは、「打った後の姿勢を意識することが参考になった」などの感想が聞かれ、それぞれに上達のコツをつかんだ「世界一剣道教室」でした。

【佐藤成明先生 略歴】

昭和十三年四月二十八日生
栃木県出身
栃木県立宇都宮高校、
東京教育大学卒
筑波大学名誉教授
関東学生剣道連盟会長
全日本学生剣道連盟副会長
全日本剣道連盟審議員
福井しあわせ元気国体
剣道競技スーパードバイザー
剣道範士八段

【川上有光先生 略歴】

昭和四十九年五月九日生
大阪府出身
PL学園高校、筑波大学卒
国士舘大学政経学部政治学科
准教授

○主な剣歴

全日本剣道選手権大会
全日本東西対抗剣道大会
全国選抜都道府県対抗剣道大会
全国教職員剣道大会
全日本剣道優勝大会に出場
優勝、準優勝等

○主な剣歴

全日本学生剣道大会(団体)
ベスト8
関東学生剣道大会(団体)二位
全日本剣道選手権大会優秀選手
国民体育大会
三位一回、五位一回
全日本強化選手
(平成十一〜十八年)



大会報告行事報告

宮本武蔵顕彰女子剣道大会

平成二十六年十月五日(日)

於 宮本武蔵顕彰 武蔵武道館
平成二十六年十月五日、岡山県美作市武蔵武道館にて宮本武蔵顕彰女子剣道大会お通杯が開催され、今年も福井県代表として出場しました。

この大会には二回目の出場で、県外での大会ということもあり、試合を楽しみにしていた反面、強い選手がいる中で、今年は一勝でも多く勝ちたいという思いもあり、とても緊張していました。

大会前には、仕事が終わりに、時間がある限り稽古に参加させて頂いたり、先生方との稽古もさせて頂いたりしました。一緒に出場する先輩選手の中には家族や育児、仕事をする中でも、稽古を頑張る姿に、いつも感心し、また私ももっと頑張れるという思いにもなれ、稽古に力がいり、試合に臨むことができました。

当日、会場に入ると、やはり強い選手が多くいる中で、ますます緊張しましたが、福井県チームの頑張る試合を見たり、応援もあつたりと少しずつ緊張がほぐ

れました。

先輩方と組んだ団体戦では、二勝することができ、他の福井県チームの試合には胸が熱くなりました。県外チームや警察、実業団の選手の試合にはレベルが高く感心し、驚きでしたが、また沢山の刺激をもらいました。これからは、私ももっともつと攻めた一本が打てるよう稽古をしたいと思います。

私は、この大会をもつて、福井の選手としては最後の試合となりました。沢山の先生方、先輩方のおかげで稽古をすることができ、またこのような大会にも出場することができ、ことに本当に感謝しています。剣道を通して、多くの方との出会いや剣を交えることができ嬉しく思います。また違う地でも、新しい出会いや剣道を楽しみに、出来る限り出来ればと思います。ありがとうございます。

記 田中 智子



平成二十六年年度福井県実業団剣道大会

平成二十六年十一月二日(日)

於 福井県立武道館
「平成二十六年年度福井県実業団剣道大会」は、十一月二日に県立武道館において開催されました。

団体戦は五人制と三人制、個人戦は、男子三段以上、同二段以下、女子の三部門で行われ、約一四〇人が参加し、熱戦を繰り広げました。

試合結果

○団体A (五人制)

優勝 野村證券株

第二位 株アイビックス

第三位 福井県庁

○団体B (三人制)

優勝 株平成ポンプクリート

第二位 日本原子力防護システム株

第三位 株ヤマト工業

○個人戦 男子三段以上の部

優勝 常松 隆夫 (野村證券株)

第二位 元井 健伍

(株平成ポンプクリート)

第三位 石倉 良澄

(福井大学医学部附属病院)

○個人戦 男子二段以下の部

優勝 西坂 友希 (堀田商店)

第二位 南北 直樹 (日華化学株)
第三位 永井 隆 (福井大学医学部附属病院)

○個人戦 女子の部

優勝 谷口 典子 (信越化学工業株)

第二位 田中佐代子 (鯖江市役所)

第三位 澤田ともみ (福井信用金庫)

第62回全日本剣道選手権大会

平成二十六年十一月三日(月)

於 日本武道館
本県代表である前田浩由選手は、一回戦で神奈川県代表の北条忠臣選手と対戦しました。

試合内容は終始攻勢をかけ、中盤まで内容的には押し気味でした。

中盤に北条選手の手元が浮くところを前田選手は裏から突きにいきました。北条選手は体を左に捌いて面を打ち返し、これが一本となりました。

その後、前田選手が果敢に攻めて打突するも決定打が無く、時間となりました。終盤に北条選手の手元が浮くところの小手打ちは、惜しい一本でした。

記 西川 謙

第62回全日本剣道選手権大会に

出場して

二年連続で全日本剣道選手権大会に出場させていた、大変ありがたいと思います。

福井県の代表として出させていただけましたが、今年も昨年程の結果が出せなく、とても悔しい思いをしました。今年の悔しさを忘れずに今後も稽古に励み、来年も全日本の舞台に立てるように努力をしていこうと思います。

また、平成三十年には福井国体が控えているため、優勝できるように、福井県の力になれるように頑張っていきたいと思います。

記 前田 浩由

第37回全国スポーツ少年団剣道交流大会予選会

平成二十六年十一月九日(日)

於 今庄中学校

小学生団体予選の部

優勝 向笠剣道スポーツ少年団

第二位 王子保スポーツ少年団剣道部

第三位 鯖江剣道スポーツ少年団

第三位 越前少年剣道クラブ

小学生団体交流の部

優勝 福井養正館スポーツ少年団

第二位 鯖江剣道スポーツ少年団

第三位 王子保スポーツ少年団剣道部
第三位 木田剣道スポーツ少年団

中学生男子個人の部
優勝 橋本 恭佑

第二位 北島 正貴
(丸岡剣道スポーツ少年団)

第三位 坂本 一晃
(吉川スポーツ少年団剣道部)

中学生女子個人の部

優勝 笠嶋 璃奈

第二位 小堀 妃奈
(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 板倉 楓都
(松岡剣道スポーツ少年団)

第20回凌雲館居合道演武

富山大会

平成二十六年十一月九日(日)

於 富山市二〇〇〇年体育館

晩秋のしぐれ模様の中、富山市で開催された居合道大会に、福井県剣道連盟から十名の選手が参加しました。この大会には北陸三県の他、新潟、長野、岐阜、愛知、三重、和歌山、京都からも一七〇名ほど選手が参加しました。同大会は毎年十一月に富山県剣道連盟と凌雲館村雲道場

が主催して開催され、年を追うごとに参加者が増えてきました。近県で行われるまたとない腕試しの大会です。開会式の後、八段の先生方の模範演武に続いて七段の演武が行われ、段別の個人演武へと進行されました。午前中に行われた段外から六段までの演武者の中から午後に行われる段別トーナメント戦に出場できる選手が選考され、福井県からは四段の部で齋藤佳男選手が選ばれました。トーナメントに勝ち上がりましたが、残念ながら三位入賞までにはなりませんでした。

試合結果
四段の部

敢闘賞 齋藤 佳男

(鯖江地区中嶋道場)

広報・居合道委員 玉村 伸治



敢闘賞受賞 齋藤佳男選手

福井県高等学校新人大会

平成二十六年十一月十五〜十七日

於 福井県立武道館

男子個人

優勝 網田 浩人(敦賀高校)

第二位 村上 幹(啓新高校)

第三位 岡田悠貴彦(高志高校)

第三位 吉岡 竜星(北陸高校)



女子個人

優勝 内山田 楓(北陸高校)

第二位 木村 顕子(敦賀高校)

第三位 光原 智晶(敦賀高校)

第三位 井上 瑞菜(美方高校)



男子団体

- 優勝 福井高校
- 第二位 敦賀高校
- 第三位 氣比高校
- 北陸高校



女子団体

- 優勝 敦賀高校
- 第二位 美方高校
- 第三位 北陸高校
- 丸岡高校



第33回敦賀市長旗争奪 福井県少年剣道錬成敦賀大会

平成二十六年十一月二十三日(日)

於 敦賀市総合運動公園体育館

試合結果

優勝 福井養正館A (敦賀市)

準優勝 鯖江志土樹館道場A

第三位 王子保スポーツ少年団剣道部A (鯖江市)

第三位 鯖江剣道スポーツ少年団A (越前市)

敢闘賞 武道学園剣道教室A (福井市)

敢闘賞 丸岡剣道スポーツ少年団A (坂井市)

敢闘賞 越前少年剣道クラブA (丹生郡)

敢闘賞 今庄剣道スポーツ少年団A (南越前町)



特別賞(10人抜き)

森 恵誠

(鯖江剣道スポーツ少年団A)

特別賞(5人抜き×2回)

大 矢 ひかる

(福井養正館A)

特別賞(5人抜き)

箕 山 敦也

(敦賀市剣道スポーツ少年団A)

特別賞(5人抜き)

崎 元 蓮太

(福井養正館B)

特別賞(5人抜き)

萩 原 祐輔

(福井東部少年剣道教室A)

特別賞(5人抜き)

寺 前 寛一

(木田剣道スポーツ少年団A)

特別賞(5人抜き)

坂 東 快心

(新風館愛宕坂道場A)

特別賞(5人抜き)

金 谷 匠悟

(鯖江志土樹館道場A)

特別賞(5人抜き)

水 上 晴貴

(王子保スポーツ少年団剣道部A)

第35回少年剣道芦原大会

平成二十六年十一月三十日(日)

於 トリムパークかなづ

団体の部

優勝 木田剣道スポーツ少年団A

準優勝 福井養正館B

第三位 今立剣道スポーツ少年団A

鯖江志土樹館道場A

男子個人の部

優勝 中 村 翔太郎

(鯖江志土樹館道場)

準優勝 山本空羽

(越前町少年剣道クラブ)

第三位 坂東快心

(新風館愛宕坂道場)

第三位 山本悠輔

(丸岡剣道スポーツ少年団)

女子個人の部

優勝 南元優那

(福井養正館)

準優勝 大矢ひかる

(福井養正館)

第三位 藤原日菜乃

(今庄剣道スポーツ少年団)

第三位 小林友

(新風館愛宕坂道場)

第56回大阪居合道大会

平成二十六年十二月七日(日)

於 大阪市 舞州アリーナ

初めての積

雪を見た師走

の第一日曜日

に、大阪府剣

道連盟主催の

大阪居合道大

会が開催され

ました。この

大会には全国

から大勢の選

手が参加する



伝統ある大会です。今回も千四百名余りの選手が参加し、福井からも五名が出場しました。段外から六段まで三人制のトーナメントで試合が行われました。今回は誰一人も初戦突破する選手がいなくて残念な結果となりました。四月から居合道に入門した高校生の三田村君は今回、見学だけでしたが、大会の雰囲気を感じ取り、是非来年は参加したいと意気込んでいました。

選手は次の通りです。
 五段の部 堀川 旨 明
 四段の部 高橋 滋
 齋藤 佳 男
 真保 克 之
 三段の部 奥田 博 之
 記 玉村 伸治

第5回福井県少年剣道強化錬成大会

平成二十六年十二月十四日(日)
 於 福井県立武道館
 本大会は、福井県剣道連盟の年間事業計画の一環として、県内の小学生を対象に開催し、少年剣道の技術の向上及び交流を図ること目的としています。

本年度の参加人数は、約二百七十五名(五十五チーム)に参加していただきました。

本大会は、「午前の部」及び「午後の部」に分けて行い、午前の部は、少年委員会が設定したプログラムに基づく試合稽古を行い、午後の部には、各教室による申し合わせ稽古を行いました。

本年度は、昨年と一部形式を変更し、自由な発想で交流が出来るようにしました。参加した小学生に感想を尋ねたところ、「日ごろ、試合をしたことのないチームと数多くの試合をすることができました。今後の稽古に生かしたいと思います。」「楽しかったです。来年も参加したいと思えます。」「と、元気な声で答えてくれました。

最後に、強い冬型による大雪の恐れの中、県内各地区から数多くの教室にご参加をいただき、盛会の内に終了することができました。参加いただきました皆様方のお陰と感謝申し上げます。これからも、魅力ある少年剣道強化錬成大会になるように努力したいと思えます。

記 少年委員会 船田久三郎



第17回宮川旗争奪中学生剣道選抜錬成大会

平成二十六年十二月十四日(日)
 於 敦賀高等学校

雪の降る悪天候の中、県内外から13府県40校、男子37チーム・女子30チームの参加で熱戦が繰り広げられました。また今大会は、福井国体強化に向けてアスリート指定選手でチームを結成し、男女各2チームが参加しました。

開会式後の講演会では、福井国体少年の部コーチである大阪体育大学の神崎 浩先生から「私の中学校時代、人との出会いで道は拓かれる」と題してご講演を頂きました。また、終日アスリート選手たちに直接ご指導を頂き、充実した時間となりました。

試合結果は、次の通りです。

- 男子の部
 - 優勝 布袋中学校 (愛知県)
 - 第二位 福井元気国体チーム
 - (福井県アスリート選手)
 - 第三位 高鷲中学校 (岐阜県)
 - 第三位 山室中学校 (富山県)
- 女子の部
 - 優勝 福井しあわせ国体チーム (福井県アスリート選手)
 - 第二位 嬉野中学校 (三重県)
 - 第三位 大須賀中学校 (静岡県)

第三位 中山中学校 (岐阜県)
 最優秀マナー校

男子 大蔵中学校 (兵庫県)
 女子 大須賀中学校 (静岡県)
 記 大会事務局 中村 英紀



剣道・居合道 初稽古

平成二十七年一月四日(日)
 於 福井県立武道館
 元日からのまとまった降雪で年が明けた平成二十七年の福井県剣道連盟「剣道・居合道 初稽古」が、一月四日に県立武道館において開催されました。

あいにくの雨模様の中、県内各地区の小中高生から一般まで、昨年を上回る約一八〇名が参加しての活気あふれる稽古会となりました。

剣道は剣道大道場で、全員での素振りの後、一般が元に立って学生が



掛かる地稽古、小中高生や一般同士の地稽古と、皆、気合十分に稽古を行いました。

居合道は剣道小道場において、形の稽古など、張り詰めた空気の中、緊張感のある稽古を行いました。それぞれが今年一年の精進を誓い、気持ちを新たにしていきました。

また、初稽古に先立ち、去る十一月三日に全日本剣道連盟の剣道有功賞を受賞されました本連盟副会長北野左京先生の伝達表彰式が行われました。

福井県中学校冬季剣道強化錬成大会

平成二十七年一月二十四日(土)

於 敦賀市立体育館
参加校 男子37校 女子31校

結果は次の通り。

(男子団体の部)

準々決勝	鯖江中	4-1	藤島中
	明道中	2-0	明倫中
	武二中	3-0	松陵中
	中央中	2-1	丸岡中
準決勝	鯖江中	4-1	武二中
	明道中	3-1	中央中
三位決定	中央中	1-1	武二中
決勝	鯖江中	2-0	明道中

男子団体決勝

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
鯖江中	小嶋	増田	川崎	重盛	北島
	×	㊟	×	×	㊤
明道中	中野	中村	高柴	増永	北

女子団体決勝

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	代表者戦
松陵中	竹田	松井	山川	松田	堤腰	堤腰
	×	×	×	×	×	×
三方中	久保	川島	奥村	田辺	池田	池田

(女子団体の部)

準々決勝	松陵中	4-0	坂井中
	三方中	5-0	森田中
	中央中	2-0	丸岡南中
	丸岡中	3-0	高浜中
準決勝	松陵中	3-0	中央中
	三方中	1-1	丸岡中
三位決定	中央中	2-1	丸岡中
決勝	松陵中	0-0	三方中

(本数勝ち)

(代表勝ち)



第9回福井県ジュニア育成強化剣道大会

平成二十七年二月八日(日)

於 福井県立武道館
県内の少年剣道教室43団体370名が参加しました。

一年生の部

- 優勝 後藤 里胡 (福井養正館)
- 準優勝 山本 紀仁 (王子保スポーツ少年団)
- 第三位 藤井 凱斗 (立待スポーツ少年団)
- 第三位 矢田部 暁 (織田剣道スポーツ少年団)



二年生の部

- 優勝 山本 天晴 (越前少年剣道クラブ)
- 準優勝 山川陽太郎 (福井養正館)
- 第三位 坂井 健臣 (福井少年剣道クラブ)

第三位 岩崎 成生
(越前少年剣道クラブ)



三年生の部

優勝 森 陽輝

(鯖江剣道スポーツ少年団)

準優勝 三船胡太郎 (五常館)

第三位 杉原歩佳

(鯖江志士樹館道場)

第三位 伊藤 朋哉

(王子保スポーツ少年団)

四年生男子の部

優勝 崎元 蓮太(福井養正館)

準優勝 宇野 竜明

(今立剣道スポーツ少年団)

第三位 松田 智樹

(栗野剣道教室)

第三位 相馬 快成
(織田剣道スポーツ少年団)



四年生女子の部

優勝 加藤 咲希

(坂井剣道スポーツ少年団)

準優勝 藤井 奏香

(王子保スポーツ少年団)

第三位 大島 光結

(春江少年剣道教室)

第三位 龍田 遥夏

(今立剣道スポーツ少年団)

五年生男子の部

優勝 大和 泰雅(福井養正館)

準優勝 奥村 龍也

(向笠剣道スポーツ少年団)

第三位 森 恵誠
(鯖江剣道スポーツ少年団)



五年生女子の部

優勝 宇野 光咲

(松岡剣道スポーツ少年団)

準優勝 木村真理子

(今庄剣道スポーツ少年団)

第三位 小林 咲季

(志比剣道スポーツ少年団)

第三位 網田 恭子

(南条剣道スポーツ少年団)

六年生男子の部

優勝 中村翔太郎

準優勝 岡田佳志彦
(木田剣道スポーツ少年団)



六年生女子の部

優勝 大矢ひかる(福井養正館)

準優勝 遊津 可菜(福井養正館)

第三位 小林 友

(新風館愛宕坂道場)

第三位 南元 優那

(向笠剣道スポーツ少年団)

地区連盟だより

第23回 古城旗争奪剣道大会

平成二十七年十一月三日(月)

於 丸岡南中学校

主催 丸岡剣道連盟

参加チームは29チームでした。

団体は、小学生と中学生の混成チームで行いました。

成績結果

○団体戦

優勝 丸岡剣道スポーツ少年団A

第二位 鯖江剣道スポーツ少年団A

第三位 新風館愛宕坂道場A

第三位 越前少年剣道クラブA

○個人戦

★小学生男子の部

優勝 山本 悠輔

(丸岡剣道スポーツ少年団)

第二位 黒川 暉瑛

(武道学園剣道教室)

第三位 堂前 黎昇

(王子保スポーツ少年団)

第三位 吉田 瑛博

(越前少年剣道クラブ)

★小学生女子の部

優勝 山下 真奈

(王子保スポーツ少年団)

第二位 井村 歩加

(王子保スポーツ少年団)
第三位 八本木萌心
(越前少年剣道クラブ)

第三位 宇野しずく
(王子保スポーツ少年団)

★中学生男子の部

優勝 橋本 恭佑

(丸岡剣道スポーツ少年団)

第二位 坂本 一晃

(丸岡剣道スポーツ少年団)

第三位 上坂 壮平(豊剣道教室)

第三位 増田 翔(豊神館道場)

★中学生女子の部

優勝 高木ひより

(吉川スポーツ少年団剣道部)

第二位 齋藤 有那

(武道学園剣道教室)

第三位 虎尾 彩華(坂井町剣道)

第三位 池端 優希

(金津少年剣道教室)

第32回丹生郡少年剣道

錬成大会

平成二十七年十二月七日(日)

於 越前町立織田小学校

主催 丹生地区剣道連盟

去る十二月七日(日)に越前町立

織田小学校体育館に於いて、丹生地

区剣道連盟主催・福井新聞社後援の

第32回丹生郡少年剣道錬成大会が連

盟管内の3小学校と4中学校の少

年剣士ら総勢約50名の参加にて盛大

に開催されました。

大会各部門の入賞者は次の通りです。

小学生団体戦

優勝 織田剣道スポーツ少年団

第二位 越前少年剣道クラブ

第三位 朝日少年剣道

個人小学4年生以下の部

優勝 相馬 快成

(織田剣道スポーツ少年団)

第二位 三原 瑚白

(織田剣道スポーツ少年団)

第三位 山本 天晴

(越前少年剣道)

個人小学5・6年生の部

優勝 山本 空羽

(越前少年剣道クラブ)

第二位 八本木萌心

(朝日少年剣道)

第三位 相馬 忝成

(織田剣道スポーツ少年団)

個人中学生男子の部

優勝 水島 郁士 (織田中)

第二位 水野 敬太 (清水中)

第三位 北瀬 貴久 (越前中)

個人中学生女子の部

優勝 肴倉 菜摘 (清水中)

第二位 長谷川侑香 (清水中)

第三位 松原帆乃香 (清水中)

記 丹生地区剣道連盟事務局 水島真吾

新春奉納試し切り大会

平成二十七年一月三日(土)

於 越前市武道館

主催 越前市剣道連盟

越前市剣道連盟では、一月三日、恒例の奉納試し切り大会を開催しました。この大会は昭和三十年から開催され、今年で六十一回目となる伝統ある行事です。今回は新年になつてから降つた雪が深く、駐車場の確保が大変でしたが、何とか除雪車を手配して参加者の便宜を計らい、定刻の二時から無事開会できました。

山田昭榮会長以下連盟会員の他、奈良越前市長はじめ多数の来賓をお迎えし、また、他地区から駆けつけて頂いた先生方や中・高校生も含め約一〇〇名の参加を得ておごそかに行われました。

初めに今年一年の安全・健康を願い、また稽古に精進する誓いを立て神事が執り行われた後、日本剣道形と居合道が奉納演武されました。

演武者は次の会員です。

日本剣道形

打太刀 五段 岸下 俊宏
 仕太刀 五段 妙珍 武夫
 居合道 五段 角 裕幸

四段 高橋 滋

引き続き試し切りに移り、山田会長、奉納演武者、前年昇段者たちが試し切りに臨みました。青竹を芯に藁で編んだ菰を巻いた「巻き藁」は太さが約15cmで、水を吸った状態は人間の胴に匹敵するといわれています。日頃持ち慣れない日本刀ですが、見事に一刀両断する会員が何人もいました。女性剣士が二名、堀端愛四段と山本なつみ初段が挑戦しました。刃筋が通っていましたが、パワー不足のためか、竹まで切れたあと、切り残しました。来賓にも挑戦して頂き、期待とため息と拍手の中で無事試し切り大会は終了しました。

その後全員が整列し、山田会長から新年の挨拶を受け、剣道と居



合道に分かれて初稽古会が実施され、盛会の内に午後五時までにすべての行事が終了しました。

記 越前市剣道 玉村 伸治

トップアスリート剣道教室

平成二十七年二月七日(土)

於 越前市武道館

主催 越前市剣道連盟

講師 新里知佳野先生

剣道錬士六段

日本体育大学 剣道部女子監督 越前市剣道連盟では、世界剣道選手権大会や全日本女子剣道選手権大会などで上位入賞され、活躍著しい新里知佳野先生を講師にお迎えして、トップアスリート剣道教室を開催しました。これは越前市教育委員会より競技力アップサポート事業の委託を受けて開催するものであり、毎月第一土曜日に開催している少年剣道レベルアップ教室の一環として行われました。また、同大学に勤務されている越前市出身の細川梨絵先生(錬士六段)にも指導をお願いしました。

午前九時から開講式があり、山田昭榮会長の挨拶に続いて講師が紹介されました。午前中は小・中学生が約六〇名参加し、体移動、素振りなど基本から指導を受けました。「相

手がいなくてもできる一人稽古の時間を持つ大切さ」「自分の動きを自分の意志でコントロールできる力を身に付けよ」など今後の稽古に対する心構えも学びました。

切り返し、体当たりの後、互格稽古と進み午前の稽古は終了しました。午後は、中・高校生が対象で、県指定強化選手や、選抜大会に出場する敦賀高校女子剣道部員も含め、三十



数名が参加し一時から再開されました。はじめは午前と同じメニューでしたが、内容が濃く「素振りは準備運動ではない、技術向上のための大事な基本稽古である」ことを強調されていました。仕掛け技、応じ技のポイントを学び、約束稽古の中であっても、打ち損じたら、とつさに次の技が出せるよう習慣付けることを指導されました。このことが試合の中で膠着状態から自分の方へ流れを引き寄せることが出来るという実践的な指導でした。約束稽古から掛かり稽古、二人が同時に打ち合う乱戦の後、新里・細川両先生をはじめ地元の高段者から稽古をつけて頂いて終了となりました。

閉講式で新里先生から、「言われたことを唯漫然と行っているのではなく、指導の先生が何を目的に指導しているのかを考え、自分たちの次の発展につながる稽古を目指して下さい」と講評があり、選抜大会で頑張るよう敦賀高校女子剣道部員にエールを送られて終了となりました。

記 越前市剣道 玉村 伸治



みんなの広場

剣道部・ クラブ紹介

三方地区剣道連盟

本連盟の紹介にあたり四つの特色をお伝えします。

一つ目は、長い歴史があること。若狭町鳥浜という集落では、青年会が明治時代から剣道大会を主催していました。以来、大正・昭和と受け継がれ、昭和三十二年一月五日に本剣道連盟が創立されました。

二つめは、本連盟は一枚岩であること。小西清光会長を中心としてみんながまとまっています。会員にはさまざまな立場の者がいますが、お互い経験やキャリアは尊重しても、段位や実績をひけらかすような関係ではありません。

三つ目は、自由で和やかな気風であること。先輩に指導や助言を受けますが「こうあるべきだ」「それは間違っている」という指摘はありません。「こういう教えや方法もある。最も良いのはどれか私も勉強中、研究・工夫している、参考になれば。」といった指導です。

四つ目は、九つの小学校区を中心とした地域での結びつきが強いこと。

幼い頃、剣道教室で学んだ者が大人になり、その地域の指導者になるといった循環が長く続いています。この結びつきはずっと続くため、師弟関係がやがては生涯の稽古仲間、剣友といった関係になっていきます。

写真は地元出身「堀江範雄先生」を講師にお招きし開催した「第八回

小堀源 治郎先 生記念 剣道大 会」の 時のも のです。 親子対 決、師 弟対決 若手対 古株対 決など を行い、 楽しい 一日を 過ごし ました。



志比剣道スポーツ少年団

「イヤァー、メーン」。冬になると九頭竜川の川岸にそびえ立ち凍り付く志比小学校体育館に元気な掛け声と勢いよく踏み込む足音が響く。練習相手と向き合い「よろしくお願ひします」。しつかり相手の目を見て頭を下げ、きびきびと動く。足は凍り付くほど痛い。礼節を重んじる練習には緊張感があふれ自分や仲間を奮い立たせる「フアイト」の声も聞こえる。

自分たち志比剣道スポーツ少年団は30年以上の歴史があり、現在3年生から6年生までの10人が所属する。男子が8人、女子が2人。団体メンバ―4人が5年生の来年度期待のチームです。

ここにいる団員が卒業後永平寺中学校に行き剣道が続けられる環境になつてから、やつと15年がたちました。また当時の団員が少しずつ指導者として戻ってきてきています。自分たちは、試合ではあまり上位にいきませんが勝つことだけでなく、礼儀や技を磨くことで心身を鍛え勇氣と思ひやりのある人になつてもらうことを目標にがんばっています。最近足強化を重要視するようになり、普段の練習以外にすり足や追い込みなどの道場を縦に利用した強

化メニユーをやっています。

昨年度より多くの仲間を作るため回数には少ないですが練習試合に行くようになりました。日程や時間は調整して伺いますので呼んで下さい。又、冬は寒いし夏は虫だらけの道場ですが練習時間に来ていただいてもうれしいです。一緒に稽古し切磋琢磨しましょう。

○活動時間
(木曜日) 18 : 30 ~ 21 : 00
(土曜日) 13 : 00 ~ 16 : 00
両日とも始め30分間は、掃除や遊び運動(今はボール投げ)

○活動場所
永平寺町 志比小学校体育館
永平寺町 ふれあいセンター
(小ホール)土曜日空気があれば



南条剣道スポーツ少年団

南条剣道スポーツ少年団は、「楽しく元気な剣道」をモットーに週二回の稽古に取り組んでいます。団員



稽古場所：町民武道館
稽古日：毎週木・金曜
午後7時30分～9時

が五名という少人数なので、十分な練習ができないこともあります。そんな中でも、大きな声を出し一生懸命に練習しています。「素振り」「足さばき」「切り返し」「基本練習」「打ち込み」と個人の力量に応じてメニューを考えて取り組んでいます。少人数ゆえに団員の仲も良く、中学・高校の先輩が練習に来てくれることもあり、小学生も楽しく練習しています。夏には、バーベキューをしたり冬にはクリスマス会をしたりと楽しいイベントもあり、その時は、母集団・先輩も加わりわいわい盛り上がりです。今は、団員全員での初めての団体戦に向けて、練習に熱が入っています。

これからも、仲間とともに心身を鍛え、礼儀を身につけ、自分を大きく成長させてほしいと願っております。

藤島中学校剣道部

藤島中剣道部は、女子2名、男子18名の計20名で活動しています。部員の半数以上が初心者という中、経験者と一緒日々練習に励んでいます。



平日の練習時間は約1時間30分程度、素振り、切り返し、打ち込みなどの基本のものを中心とした稽古を行い、土曜日の練習は平日の練習時間より時間が長いので、基本内容に加え掛かり稽古や追い込みなどを行っています。武道館で行われる錬成会や、遠征にも参加しています。

秋の新人戦は残念な結果となりましたが、先日富山で行われた大会では、男子団体優勝という良い結果を収めることができ、今月の福井市剣道大会でも同様な結果を目指し、練習を頑張っています。毎日の練習はとても辛いです。夏の大会で練習の成果を十分に発揮したいです。目標は北信越出場です。この目標が達成できるように一日一日の稽古を大切にしていきたいです。

女子主将 岡田 悠

朝日中学校剣道部

朝日中学校は、二〇〇九年に糸生中学校と合併して、校舎の新築とともに、武道場も新築されました。この



ような恵まれた環境の中で、部員数は少ないですが、仲間と声を掛け合いながら、基本を中心に練習しています。体力向上に向けて、階段走や筋トレにも取り組んでいます。また、足捌きにも時間をかけています。そして、素振りをはじめ、打ち込み稽古では、「今の打ちは、試合だったら1本になるか?」「どうすれば打てるか?」など、考えながら取り組むように心がけています。まだまだ弱いチームですが、先生の教えをしっかりと聞き、日々の練習に集中して取り組み、当たり前のことが当たり前に行えるように、「生活II剣道」を目指して、これからがんばります。

金津高校剣道部

私たち金津高校剣道部は、顧問の道内先生と副顧問の林先生のご指導

の下で部活動をしています。部員は、二年生が3人、一年生が7人の合計10人という少ない人数で活動をしています。一人一人が明るく元気に練習しています。

金津高校は毎日の授業が7限目まであり、部活動は約1時間半という限られた時間の中で活動しています。その限られた時間の中で自分は何が苦手なのか、どうしたらうまくできるようになるのかと考えながら練習をし、短い練習時間の中でも、自身の課題に集中して取り組むことで少しでも上達することを狙っています。先生は、自分たちの直さなければならぬ部分を丁寧に教えてくださいます。それを素直な心で受け止めて改善できるように努力しています。

そして、最終的に春季総体でベスト4に入ることを目指して、残りわずかな期間を仲間のみならず、お父さんお母さんなど力を合わせて頑張っていると考えています。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十六年十一月二十四日(月)
於 福井県立武道館

「初段」七十八名

- 赤坂 英里紀 (松陵中二年)
- 五十嵐 拓哉 (足羽一中一年)
- 大塚 飛右海 (永平寺中一年)
- 山本 賢一朗 (成和中一年)
- 平口 康介 (栗野中一年)
- 田崎 健斗 (松陵中一年)
- 中村 拓未 (武生六中一年)
- 小林 一心 (南越中一年)
- 中西 海斗 (武生六中一年)
- 稲木 海陸 (明道中一年)
- 杉本 裕太 (足羽一中一年)
- 高柴 泰志 (明道中一年)
- 吉田 道広 (永平寺中一年)
- 名村 晴輝 (三国中一年)
- 林 祐輝 (丸岡中一年)
- 梅田 隼仁 (藤島中一年)
- 増永 悠希哉 (明道中一年)
- 宇野 介祥 (松岡中一年)
- 菱川 航太 (鯖江中一年)
- 大林 拓巳 (勝山南中二年)
- 菅原 稜 (足羽一中一年)
- 奥村 凜太 (中央中一年)
- 浅野 榛 (丸岡中一年)
- 廣瀬 友昭 (明倫中一年)
- 白崎 聖羅 (松岡中一年)
- 渡邊 航生 (足羽一中一年)

- 山本 梨花音 (鯖江中二年)
- 吉田 優希 (金津中二年)
- 池端 淑香 (芦原中二年)
- 宗村 怜那 (成和中一年)
- 高村 美憂 (鯖江中一年)
- 田中 実唯 (松陵中一年)
- 松井 海帆 (鯖江中一年)
- 城田 涼愛 (栗野中一年)
- 竹田 ころ香 (松陵中一年)
- 前田 侑香 (永平寺中一年)
- 橋本 楓乃 (坂井中一年)
- 三浦 瑳丸 (三国中一年)
- 北島 楓果 (丸岡南中一年)
- 宮崎 吏央 (成和中一年)
- 西浦 宗志郎 (公務員)
- 松井 涼平 (啓新高三年)
- 木崎 裕人 (羽水高一年)
- 岡部 岳祥 (科技高一年)
- 森下 登士紀 (藤島中三年)
- 大久保 拓真 (足羽一中二年)
- 平馬 一真 (至民中二年)
- 岩永 直也 (明倫中二年)
- 水口 開斗 (明道中二年)
- 増田 竜海 (武生一中二年)
- 野尻 一樹 (春江中二年)
- 江野 亮太 (三方中二年)
- 水野 龍志 (松陵中二年)
- 末政 龍也 (春江中二年)
- 加藤 竜也 (中央中二年)
- 木下 隼希 (春江中二年)
- 伊藤 大造 (永平寺中二年)
- 南部 嵩治 (丸岡南中二年)

「貳段」四十四名

- 石崎 翔太 (栗野中三年)
- 佐藤 翔馬 (角鹿中二年)
- 上坂 壮平 (鯖江中二年)
- 北原 幹貴 (明道中二年)
- 市原 稜大 (敦賀北中二年)
- 山腰 賢伸 (春江中二年)
- 細田 和寛 (明倫中二年)
- 北島 正貴 (鯖江中二年)
- 山本 龍一郎 (武生一中二年)
- 中野 陽登 (明道中二年)
- 山北 裕貴 (明倫中二年)
- 向野 一空海 (三国中二年)
- 高澤 比和 (会社員)
- 脇美 咲 (羽水高二年)
- 加藤 理恵子 (藤島高一年)
- 寺崎 結衣 (明道中二年)
- 藤崎 千緒 (鯖江中二年)
- 小出 若奈 (松岡中二年)
- 手賀 彩華 (鯖江中二年)
- 山本 望海 (三国中二年)
- 石川 星菜 (鯖江中二年)
- 林 佑佳 (足羽一中二年)
- 扇田 有紀 (鯖江中二年)
- 浅田 美歩 (三国中二年)
- 出口 純奈 (森田中二年)
- 竹澤 悠奈 (鯖江中二年)
- 高橋 りさ (足羽一中二年)
- 中本 来実 (明道中二年)
- 前田 詩歩 (丸岡中二年)
- 虎尾 彩華 (坂井中二年)
- 南部 望乃 (春江中二年)

- 藤田 真由 (会社員)
- 伊藤 有惟 (三国高二年)
- 前川 弥由 (北陸高二年)
- 大塩 知佳 (美方高一年)
- 河瀬 あすか (美方高一年)
- 西川 奈穂 (福井商一年)
- 齋藤 榛那 (丸岡高一年)
- 五十嵐 美月 (高志高一年)
- 佐藤 美輝 (丸岡高一年)
- 小辻 朋未 (藤島中三年)
- 藤井 涼香 (武生六中三年)
- 北川 綾華 (藤島中三年)
- 妙珍 加奈 (武生三中二年)
- 高木 ひより (三国中二年)
- 池谷 治華 (北陸中二年)
- 小玉 藍 (至民中二年)
- 堀江 麻衣 (春江中二年)
- 坂口 朱津 (足羽一中二年)
- 石田 嵩人 (足羽東高二年)
- 河原 朋也 (啓新高二年)
- 寺尾 菖汰 (武生東高二年)
- 河邊 一喜 (啓新高二年)
- 菅原 海陸 (羽水高二年)
- 中村 就星 (啓新高二年)
- 高地 太郎 (敦賀比高一年)
- 加藤 将典 (藤島高一年)
- 高井 勇周 (北陸高一年)
- 高橋 伴貴 (藤島高一年)
- 宮郷 悠喜 (丸岡南中三年)
- 中屋 和喜 (丸岡南中三年)
- 田中 竜喜 (武生六中三年)
- 仁尾 文哉 (高浜中三年)

〔参段〕十二名

刀 称 隼 人 (北陸高一)
 志 尾 知 章 (藤島高二)
 安 野 圭 哉 (丸岡高二)
 安 原 謙 慎 (丸岡高二)
 石 川 彰 吾 (京都造形芸術大四年)
 廣 野 祐 吾 (会 社 員)
 川 崎 朋 也 (会 社 員)
 笹 原 宏 太 郎 (会 社 員)
 杉 田 も も (美方高二)
 宮 澤 由 依 (羽水高二)
 内 山 田 楓 (北陸高二)
 井 上 瑞 菜 (美方高二)

〔四段〕三名

山 口 陽 子 (会 社 員)
 島 田 奈 美 江 (看 護 師 員)
 手 嶋 泰 伸 (教 員)

〔五段〕五名

鹿 本 裕 登 (警 察 官)
 三 井 卓 也 (警 察 官)
 小 西 規 代 (自 営 業)
 橋 本 栄 二 (公 務 員)
 馬 淵 清 和 (公 務 員)

称号・六段以上合格者

六 段 中 山 雅 浩 (警 察)
 六 段 平 口 良 一 (敦 賀)
 六 段 向 井 俊 博 (敦 賀)
 七 段 鹿 取 剛 志 (福 井)
 教 士 松 井 宏 文 (敦 賀)

女性剣士の部屋

ペンリレー

野村 知里

わたしが剣道を始めたのは中学一年のときです。姉が剣道をやっていたのがきっかけで軽い気持ちで剣道部に入部しました。当時、指導者もおらず、生徒たちだけで和気あいあいとやっているような部活でしたので、中学卒業と同時に剣道からは遠ざかっていました。

ところが、教員になり初めて赴任した大野市和泉中学校において剣道部の顧問になったことをきっかけに、再び剣道を始めました。

和泉中は、全校生徒数は二十人にも満たない小規模校で、奥越地区で唯一剣道部がある中学校です。そのため部員も少なく、練習試合に行きたくても行けず、十分な練習ができない環境の中、ときには大野市剣道連盟の先生方に稽古をつけていたときながら県大会での勝利を目標に日々練習に励んでいます。

わたしが赴任した当時も、部員数は四名。生徒とともに防具をつけ、生徒とともに練習をしました。そして徐々に中学校時代の感覚を取り戻していき、剣道の厳しさや楽しさを改めて感じるようになりました。

年によっては部員が男子一名になったこともありましたが、毎日先生と一対一で練習するなんて生徒にとっては、とても

嫌だったことでしょう。実際、他の部活に変わろうかと悩んでいる時期もありました。しかし、最後まで剣道を続け、最後の県大会では「目標としていた一勝」を果たすことができました。その生徒の満足感に満ちた笑顔は今でもとても印象に残っています。

また、私自身が生徒とともに昇段審査を受けたこともあります。中学生に混じって審査を受けることは、多少恥ずかしさも感じましたが、合格したときはとても嬉しかったし、今後も剣道を続けていきたいと改めて感じました。

そして今年度より福井市森田中学校に異動になり、ここでも剣道部の副顧問をさせてもらっています。森田中学校では、体育の授業の中で全員が剣道をしており、その一環として先日は毎年恒例、全員参加での剣道祭が行われました。このように剣道が盛んな森田中に赴任して、剣道に何かしら縁を感じている今日この頃です。

今後も生徒とともに、自分自身の技術向上に励みつつ、指導者としても成長していきたいと思っています。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616